

つながい

東金市立北中学校

第3学年だより

令和8年2月3日 第12号

文責：白井 嶺雄



～実を結ぶときを迎えて～

暦の上では春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続いています。3年生にとって2月は、中学校生活の集大成とも言える大切な時期です。これまでの3年間で積み重ねてきた学びや経験、人との関わりが、進路選択や日々の生活の中に表れています。また、教室では受検を目前に控えた緊張感とともに、仲間同士で励まし合い、互いを思いやる姿が多く見られます。不安を抱えながらも前を向き、自分の進路に真剣に向き合う姿は、大きな成長の証です。思うようにいかないことや、焦りを感じる場面もあるかと思いますが、その一つ一つが、生徒たちを確実に強くしています。

私たち教職員は、生徒一人一人がこれまでの努力に自信を持ち、自分の選んだ道へ進んでいけるよう、最後まで支援してまいります。残り少ない中学校生活が、安心して過ごせる時間となるよう、学習面だけでなく生活面や心のケアにも引き続き取り組んでいきます。

保護者の皆様におかれましても、日頃より温かく見守り、支えていただいていることに心より感謝申し上げます。卒業まで、学校と家庭が連携しながら、生徒たちの歩みを支えていければと思います。

～心と生活を整え、次のステージへ～

公立高校受検を控えた3年生にとって、学習面・生活面ともに非常に重要な時期となります。不安や緊張から気持ちが揺れ動きやすく、思うように集中できない日もあるかもしれません。しかし、この時期に最も大切なのは、これまで積み重ねてきた学習と生活を安定させ、日々を丁寧に過ごすことです。

学習面では、新しい内容に無理に手を広げるのではなく、基礎・基本の確認を中心に取り組むことが大切です。問題の解き直しや、間違えた箇所の見直しを通して、「自分はここまでやってきた」という実感を持たせることが、自信につながります。焦りから学習時間を増やしすぎると、かえって体調を崩す原因にもなりますので、無理のない計画で取り組んでいきましょう。

また、生活リズムを整えることは、この時期において非常に大きな意味をもちます。十分な睡眠、バランスの取れた食事、適度な休養は、学力を支える土台です。特に睡眠不足は集中力や判断力の低下につながるため、早寝・早起きを意識した生活を心がけてほしいと思います。ご家庭におかれましても、体調管理や生活リズムの維持にご配慮いただけますと幸いです。

さらに、3月は卒業に向けた行事が続きます。学習のまとめと同時に、「中学生としての生活を最後までやり切る」という意識を持つことが、高校生活への大切な準備となります。提出物や学校生活のルールを守ること、周囲への思いやりある行動を心がけることなど、日常の積み重ねが次のステージへとつながっていきます。残りの日々を大切にしながら、落ち着いた卒業の日を迎えられるよう、学校でも引き続き指導してまいります。

○公立高校入学者選抜に関する連絡

公立高校入学者選抜について、以下の点をご確認ください。

- ・受検日程、集合時刻、持ち物等については、事前に配付している資料および各高校からの案内を必ずご確認ください。
- ・当日は余裕を持って行動できるよう、早めの起床・出発を心がけてください。
- ・受検後の学校生活、合格発表後の手続き等については、改めて文書にてお知らせいたします。